



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,676	△8.6	275	4.5	302	16.0	259	19.1
28年3月期第3四半期	7,303	2.3	263	—	260	—	217	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 205百万円(2.3%) 28年3月期第3四半期 201百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	28.35	—
28年3月期第3四半期	23.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,631	6,418	66.2
28年3月期	9,255	6,258	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,377百万円 28年3月期 6,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,000	△5.3	300	47.4	300	49.3	200	22.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	9,382,943株	28年3月期	9,382,943株
29年3月期3Q	232,705株	28年3月期	232,705株
29年3月期3Q	9,150,238株	28年3月期3Q	9,152,328株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善がみられるなど、緩やかな回復傾向が見られたものの、世界的には中国など新興国経済の鈍化、英国のEU離脱問題、米国新政権の動向など大きな不安要素が存在しており、世界情勢は益々不安定な様相を呈しております。国内でも個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、景気の先行き不安による消費者の節約志向の高まりや、相次ぐ台風などの天候不順による影響もあり、経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めない上に、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されており、更にフードディフェンスを含めた品質や安全に対する要求に応えるための取り組み強化によるコストが増大しております。

このような状況の中、当社グループは、製品価値を訴求した販売活動を重点的にを行い、また、売上原価の上昇を抑えるため、生産体制の改善や合理化投資を実施するなど、収益力の向上に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は66億7千6百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、市場の拡大を図るため、当社食品研究所にて凍豆腐の健康機能について研究を進め、平成28年10月には凍豆腐における「糖尿病予防効果」について論文発表を行いました。同年10月28日には当社も加入している業界団体主催で凍豆腐のフォーラムを開催いたしました。また、大学・公的機関などの協力を得て健康食講座や料理教室の実施など独自の普及活動にも注力してまいりました。しかしながら大きく伸長した前年同期の売上には及ばず、売上高は32億1千4百万円（同3.9%減）となりました。加工食品では、単品収益管理の徹底を図り、不採算アイテムの改廃など収益改善に努めてまいりました。並行して当社独自の特許製法によるアルコール無添加、化学調味料無添加の即席みそ汁シリーズや減塩タイプの即席みそ汁など健康指向の商品を発売しました。また、季節感もあり昨年好評であった袋入りタイプの粕汁のバリエーションアップとして「カップ生みそずい粕汁」を発売し、コンビニエンスストアを主体に拡販してまいりました。しかし、依然として低価格競争は激しく、売上高は20億1千7百万円（同20.2%減）となりました。その他の食料品では、医療用食材はユーザーへの直接訪問を基本とした営業活動や、ダイレクトメールでの新規開拓を積極的に行っており堅調に推移し、売上高は14億1千9百万円（同0.9%増）となりました。

利益面では、円安などによる原材料価格の上昇や、品質改善投資に伴う減価償却費の増加などもありましたが、生産体制の改善や合理化投資などの施策の効果が出てきており、営業利益は2億7千5百万円（同4.5%増）、経常利益は3億2百万円（同16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千9百万円（同19.1%増）といずれも増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ3億7千5百万円増加し、96億3千1百万円（前連結会計年度比4.1%増）となりました。総資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少1億3百万円、無形固定資産の減少6千9百万円などがあったものの、最需要期を迎えた売上の増加による受取手形及び売掛金の増加3億8千万円や生産体制の見直しなどによる有形固定資産の増加2億円があったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ2億1千5百万円増加し、32億1千2百万円（同7.2%増）となりました。負債の増加の主な要因は、未払金の減少1億7百万円や、退職給付に係る負債の減少7千万円などがあったものの、製造原価の改善を目的とした設備投資などによる長期借入金の増加2億3千7百万円や支払手形及び買掛金の増加6千6百万円があったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度に比べ1億6千万円増加し、64億1千8百万円（同2.6%増）となりました。これは利益剰余金の増加2億1千3百万円があったことなどによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.9ポイント減少し、66.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成28年11月9日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,569	2,194,706
受取手形及び売掛金	1,690,116	2,070,522
たな卸資産	954,657	933,062
繰延税金資産	3,219	4,965
その他	71,870	54,515
貸倒引当金	△4,580	△5,533
流動資産合計	5,013,854	5,252,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,484,904	5,525,135
減価償却累計額	△4,418,870	△4,467,238
建物及び構築物（純額）	1,066,033	1,057,896
機械装置及び運搬具	5,965,813	6,097,085
減価償却累計額	△5,284,646	△5,209,751
機械装置及び運搬具（純額）	681,167	887,334
土地	1,671,643	1,690,573
リース資産	158,697	185,733
減価償却累計額	△40,856	△62,563
リース資産（純額）	117,841	123,170
建設仮勘定	25,684	9,570
その他	434,657	423,917
減価償却累計額	△381,593	△376,531
その他（純額）	53,064	47,386
有形固定資産合計	3,615,434	3,815,930
無形固定資産	384,299	315,132
投資その他の資産		
投資有価証券	169,119	175,547
繰延税金資産	1,576	1,576
その他	76,045	75,286
貸倒引当金	△4,691	△4,691
投資その他の資産合計	242,049	247,719
固定資産合計	4,241,783	4,378,782
資産合計	9,255,638	9,631,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	642,115	708,307
短期借入金	225,871	325,008
リース債務	33,818	39,425
未払金	411,845	303,855
未払法人税等	40,510	30,846
賞与引当金	93,369	46,331
設備関係支払手形	115,075	155,293
その他	233,697	236,283
流動負債合計	1,796,303	1,845,351
固定負債		
長期借入金	459,539	696,618
リース債務	120,444	115,839
繰延税金負債	90,129	92,144
退職給付に係る負債	474,807	404,385
資産除去債務	48,137	48,373
その他	8,100	10,100
固定負債合計	1,201,159	1,367,460
負債合計	2,997,463	3,212,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,345,187	3,558,873
自己株式	△129,503	△129,503
株主資本合計	6,465,952	6,679,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,962	22,431
繰延ヘッジ損益	△228	△90
為替換算調整勘定	121,987	39,867
退職給付に係る調整累計額	△395,297	△363,956
その他の包括利益累計額合計	△255,575	△301,747
非支配株主持分	47,798	40,316
純資産合計	6,258,174	6,418,207
負債純資産合計	9,255,638	9,631,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	7,303,924	6,676,015
売上原価	5,278,265	4,680,601
売上総利益	2,025,659	1,995,413
販売費及び一般管理費	1,761,681	1,719,513
営業利益	263,978	275,900
営業外収益		
受取利息	1,327	1,972
受取配当金	1,287	1,571
受取保険金	2,331	3,418
補助金収入	7,759	14,472
雑収入	10,172	10,430
営業外収益合計	22,877	31,864
営業外費用		
支払利息	6,482	5,077
為替差損	1,082	-
製品自主回収関連費用	18,119	-
雑損失	563	253
営業外費用合計	26,247	5,331
経常利益	260,607	302,433
特別利益		
固定資産売却益	1,831	123
特別利益合計	1,831	123
特別損失		
固定資産売却損	504	17
固定資産除却損	9,898	5,803
投資有価証券評価損	-	2,800
特別損失合計	10,403	8,621
税金等調整前四半期純利益	252,035	293,935
法人税、住民税及び事業税	32,271	34,696
法人税等調整額	1,574	△1,840
法人税等合計	33,845	32,856
四半期純利益	218,190	261,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	328	1,643
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,861	259,436

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	218,190	261,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,123	4,469
繰延ヘッジ損益	△4,872	138
為替換算調整勘定	△15,890	△91,244
退職給付に係る調整額	557	31,341
その他の包括利益合計	△17,081	△55,295
四半期包括利益	201,108	205,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,368	213,265
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,260	△7,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,278,626	7,278,626	25,298	7,303,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	794	794	—	794
計	7,279,420	7,279,420	25,298	7,304,719
セグメント利益	1,216,303	1,216,303	19,532	1,235,835

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,216,303
「その他」の区分の利益	19,532
全社費用(注)	△971,857
四半期連結損益計算書の営業利益	263,978

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	6,651,770	6,651,770	24,244	6,676,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	539	539	—	539
計	6,652,310	6,652,310	24,244	6,676,554
セグメント利益	1,298,583	1,298,583	19,049	1,317,633

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,298,583
「その他」の区分の利益	19,049
全社費用(注)	△1,041,732
四半期連結損益計算書の営業利益	275,900

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。